



Title	粗悪な学術誌ってなんですか？
Author(s)	井出, 和希
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/90996
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

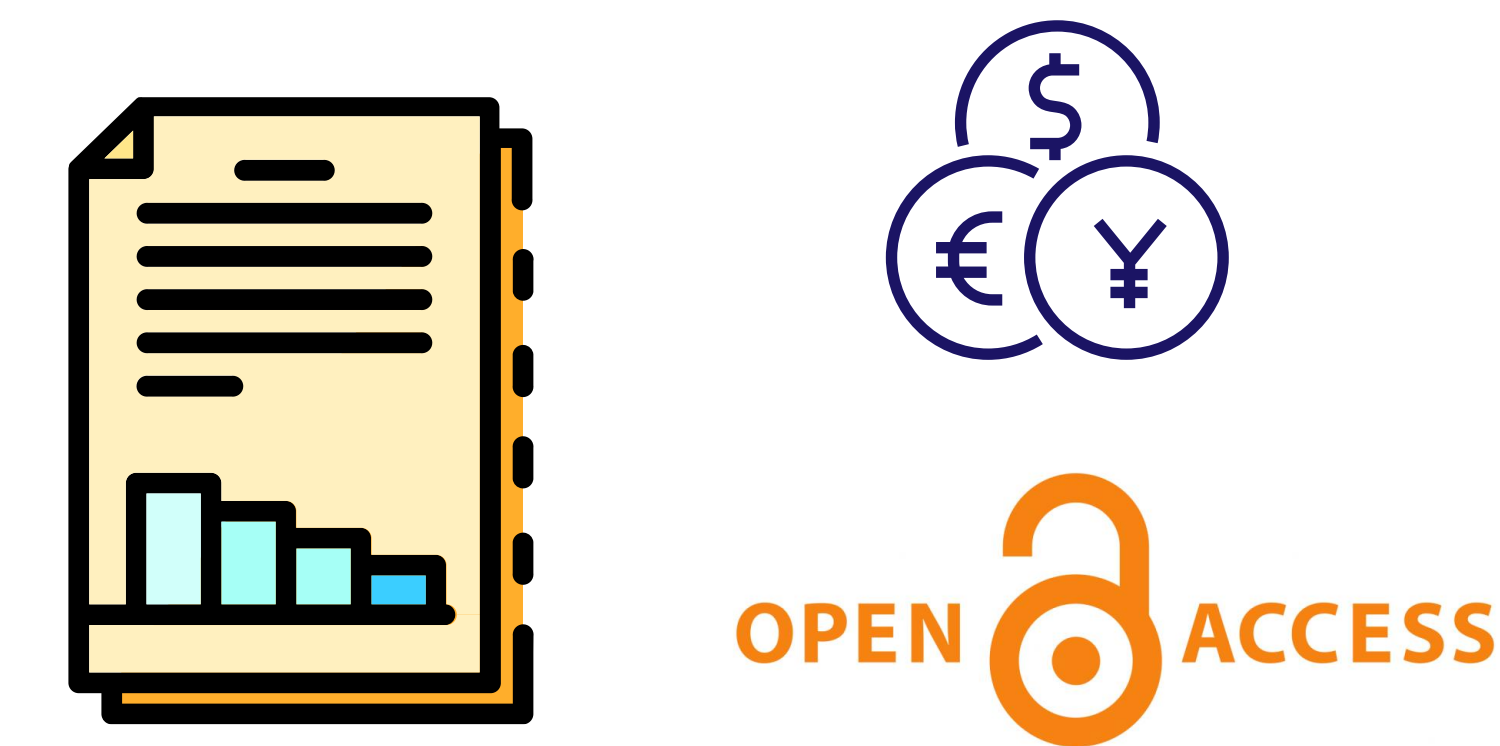
粗悪な学術誌ってなんですか？

○井出 和希^{1, 2, 3*}

¹大阪大学 感染症総合教育研究拠点 科学情報・公共政策部門, ²大阪大学 社会技術共創研究センター(ELSIセンター)
³科学技術・学術政策研究所(NISTEP)



メディアとしての学術誌



- 学術誌は、研究成果を伝えるメディアとして長く活用されてきた
- 2022年、Web of Science Core Collectionに絞っても、
年間330万報以上の論文が出版されている
- **オンライン化、オープンアクセス化の加速**もこの動向を後押し
＝学術出版に係る技術的障壁 & コスト低下

コスト負担の大きさ

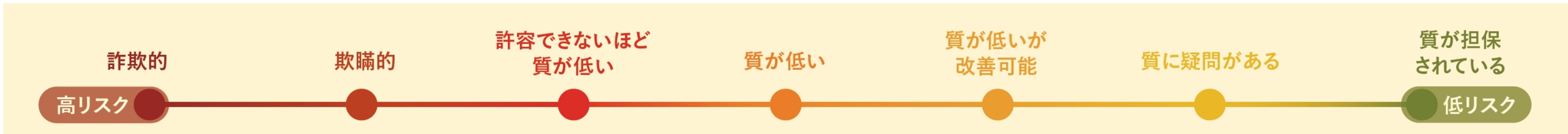
オンライン化、オープンアクセス化は論文へのアクセスし易さを向上した半面、
研究者の掲載料(Article Processing Charge, APC)負担も大きい・・・
特に有名誌では、一報100万円以上要することもある

実際の研究者の声は・・・？
Ide K, Nakayama J. Researchers support preprints and open access publishing, but with reservations:
A questionnaire survey of MBSJ members. Genes Cells. 2023, in press.



「粗悪な～」とは？

- キャリア形成のためにとにかく論文を出版しなくてはならないという慣習(Publish or Perish)
- 実際に、たくさんの論文が毎年出版されている(出版のニーズがある) + 技術的障壁&コスト低下 → **粗悪な学術誌の登場**
- ただし、**全ての粗悪な学術誌が悪意を以て運用されている訳ではない**点には留意が必要



スペクトラムアプローチ (IAP 2022)

とはいえ、実態や具体的な問題点は・・・？

データベース
Predatory Reports
実態を探索

✓ 16,829誌収載(2022年12月時点)
✓ **判断の観点(=なぜ疑うか)**を含む
✓ 商用(有償、機関契約)

97.9% OA
掲載料収入が目的

36.8%
医学領域*
*領域は複数選択

21.5%
生物科学領域*
*領域は複数選択

具体的な問題点は・・・

判断の観点(上位3項目)*	n(%)
デジタル保存のためのポリシーがない	14,315(72.2)
論文が掲載されていない, またはアーカイブに号や論文がない	10,252(51.7)
ジャーナルのウェブサイトに査読方針が明記されていない	8,902(44.9)

*複数選択あり

今回紹介した内容について、実際に皆さんが見聞きしたものごとはあるでしょうか？
是非、経験や気になっていることも含め言葉を交わすことができると嬉しいです

参考資料

井出和希, 林和弘. オープンアクセス型学術誌の進展により顕在化する「Predatory Journal」問題－実態、動向、判断の観点－. STI Horizon. 2022; 8(2): 38-43.

井出和希, 林和弘, 小柴等. プレダトリージャーナル判定リストの実態調査. NISTEP RESEARCH MATERIAL. 2023; No.326 (27 pp).



謝辞:
本研究は、日本財団・大阪大学 感染症対策プロジェクト、稲盛財団、JSPS科研費(若手研究 23K12845)、NISTEPによる支援を受けた。